

氏名	佐才 めぐみ		
授与した学位	博士		
専攻分野の名称	環境学		
学位授与番号	博甲第	5752	号
学位授与の日付	平成30年 3月23日		
学位授与の要件	環境生命科学研究科 環境科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)		
学位論文の題目	長期外航クルーズ旅行に伴う健康問題に関する研究		
論文審査委員	准教授 頼藤 貴志	教授 梶原 毅	教授 津田 敏秀
学位論文内容の要旨			
<p>世界のクルーズ旅行者は年々増加しており、我が国でも長期クルーズ旅行に対する関心が高まっている。長期クルーズ旅行者は年齢層が高く、船内でよくみられる疾患として、呼吸器感染症、外傷、船酔い、消化器系疾患などの頻度が高いことが知られているが、長期外航クルーズ旅行者の健康問題に関する知見は限られている。本研究では、2012年5月～2013年10月にA社が運行した5回の日本発着外航クルーズの乗船客を対象として、船内で受診を要した疾患群の性・年齢層別罹患率と参照群（25～39歳）に対する各年齢層の罹患率比及びその95%信頼区間を推定した。また、動揺病については、航海時期やエリアの内訳を示し、受診した乗船客の年齢層、キャビンの条件、窓の有無に関して男女比較を行った。全クルーズにおいて男女とも呼吸器系の罹患率が最も高く、1,000クルーズ人日数あたりの罹患率は男性全体が3.11件、女性全体が3.57件であった。次いで全体の罹患率が高いものより、胃腸系・下痢症は男女とも全体で1,000クルーズ人日数あたり約0.6件、損傷・外因性は男女とも全体で1,000クルーズ人日数あたり約0.5件等の結果が得られた。動揺病による受診件数は出航時期（季節）、航海エリアの影響を受けていること、性別や年齢層に加えて客室の位置や条件も影響している可能性があった。その他の疾患についても、疾患群や年齢層によって罹患率が高まることや、その傾向に性差があることが示唆された。各疾患群の罹患や受療と関連する要因については、それぞれ更なる分析が必要であるが、日本発着外航クルーズの乗船客を対象とした疫学研究で性別や年齢を考慮した罹患率など新たな知見が得られた。</p>			

論文審査結果の要旨

世界のクルーズ旅行者は年々増加しており、我が国でも長期クルーズ旅行に対する関心が高まっている中での研究である。長期クルーズ旅行者は年齢層が高く、船内でよくみられる疾患として、呼吸器感染症、外傷、船酔い、消化器系疾患などの頻度が高いことが知られているが、長期外航クルーズ旅行者の健康問題に関する知見は限られている中での研究である。

本研究では、2012年5月～2013年10月にA社が運行した5回の日本発着外航クルーズの乗船者を対象として、船内で受診を要した疾患群の性・年齢層別罹患率と参照群(25～39歳)に対する各年齢層の罹患率比及びその95%信頼区間を推定した。また、動揺病については、航海時期やエリアの内訳を示し、受診した乗船客の年齢層、キャビンの条件、窓の有無に関して男女比較を行った。

全クルーズにおいて男女とも呼吸器系の罹患率が最も高く、1,000クルーズ人日数あたりの罹患率は男性全体が3.11件、女性全体が3.57件であった。次いで全体の罹患率が高いものより、胃腸系・下痢症は男女とも全体で1,000クルーズ人日数あたり約0.6件、損傷・外因性は男女とも全体で1,000クルーズ人日数あたり約0.5件等の結果が得られている。動揺病による受診件数は少なかったが、出航時期(季節)、航海エリアの影響を受けていること、性別や年齢層に加えて客室の位置や条件も影響している可能性があったことを示した。その他の疾患についても、疾患群や年齢層によって罹患率が高まることや、その傾向に性差があることを明らかにしている。

本研究は、日本では数少ない本格的な旅行医学に関する疫学研究であり、かつ長期外航クルーズ旅行に関するコホート研究として貴重な研究である。従って、本研究は、博士の学位(環境学)にふさわしいものである。